

# 1. はじめに

広島県医師会長

広島県腫瘍登録委員会委員長

確 井 静 照

広島県腫瘍登録事業は1973年4月1日から開始されました。各施設のご理解とご協力のおかげで2008年も生検症例43,130件、解剖症例192件と多数の登録をいただき、2008年末現在で総登録受付件数は910,611件に達しました。誠に有り難く感謝申し上げます。

広島県内でがん登録事業が開始されたのは全国でも屈指の早い時期であり、私たちは本事業をより発展させ、県民のがん対策、がん診療に貢献したいと考えています。この目的のために、本事業が「広島県地域がん登録事業」（実施主体：広島県）と一体化を図ったことはご承知のとおりです。

平成20年3月に策定された「広島県がん対策推進計画」にも、「広島県地域がん登録システム事業」（地域がん・腫瘍）として明記され、名実ともに正確な病理診断に裏付けられた臨床登録の体制が整備されました。今後さらに全国に先駆けたがん登録事業を推進し、県民の健康のために努力を傾けたいと考えているところです。

本年は、昨年に引続き比較的登録率の低い広島県東部地域、並びに幅広い施設からの登録拡大を目標に掲げ、広島県医師会速報等で登録施設の募集を行いましたところ、本年の報告書では協力登録施設数は84施設（昨年71施設）と前年より増加しました。これもひとえに皆様方のご協力の賜であり感謝申し上げますとともに、さらなる登録精度向上が図れるものと期待しています。

さて、広島県医師会では、この腫瘍（組織）登録のデータ集計を基に、毎年報告書を作成し発行しており、この度、広島県腫瘍登録報告書 No.32を作成しましたのでお届けします。

最初に「グラフで見る2004年のデータ」として、2004年時の広島県内60医療機関における腫瘍組織登録の結果をまとめました。詳細は「2004年のデータ集計」として添付していますのでご覧下さい。また、特定解析臓器では、中枢神経系腫瘍を取り上げ、「グラフで見る1973～2004年の中枢神経系腫瘍」として32年間のまとめを行いました。ぜひご覧いただきますようお願い申し上げます。

今後は、いかに本事業の成果を県民に還元するかを考えながら、事業の推進を図りたいと考えており、さらに本事業開始前1973年以前の病理診断情報についても、関係各病院の協力を得て収集作業を進めていきます。

本事業に対して、何卒ご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。